

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン別売部品

PAC-CE39TF・40TF

透湿膜加湿器取付説明書

WT05092X02

●取付けの前には、安全を確保するため必ずこの「取付説明書」をよくお読みください。

取付完了後はこの「取付説明書」を大切に保存してください。移設など重サービスを行うとき、きっとお役にたちます。

安全のために必ず守っていただく項目を  警告  注意の形で記載しました。

安全のために必ず守ること

●取付工事はこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に守ってください。

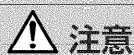
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●誤った扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して表示しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

●取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取付説明書にそってお客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れなどについて説明してください。

●取付説明書は取扱説明書・保証書とともに、お客様で保管いただくよう依頼してください。お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

取付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

●ご自分で取付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、『電気設備に関する技術基準』『内線規程』および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

●電気回路容量不足や施工不良があると、火災・感電等の原因になります。

配線は、パネルや端子カバーが浮き上がらないように整形し、パネルや端子カバーを確実に取付ける。

●パネルやカバーの取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災・感電等の原因になります。

取付工事は取付説明書に従って確実に行う。

●取付けに不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部に配線の外力が伝わらないように確実に固定する。

●接続や固定に不備があると、火災・感電等の原因になります。

改造はしない。

●改造し不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

お客様自身で分解・修理・移設はしない。

●修理・移設等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

注意

各配線は、張力がかからないように配線工事をする。

●張力がかかると、発熱・火災・断線等の原因になります。

製品内部の金属エッジに素手で触れない。

●ケガの原因になります。

パネルやファンガード等を取外した状態で運転しない。

●回転部・高温部・高電圧部に触れると、火傷やケガの原因になります。

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。

●通電時間が短い場合故障の原因になります。
シーズン中は電源を切らないでください。

製品を水洗いしない。

●感電の原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

●感電の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

●必ず5分以上経過後に電源を切ってください。すぐに電源を切ると、故障や水漏れの原因になります。

1. 部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

NO.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
部品名	加湿エレメント	給水タンクユニット	接続板 (前)	接続板 (後)	ホース固定板	タンク固定板	固定板 (左)
形状							
個数	2 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
NO.	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
部品名	固定板 (右)	銅管	給水バルブセット	リレー	ネジ	ネジ	パンタイ
形状							
個数	1 個	1 個	1 個	1 個	サイズ4×10 8 個 (予備1 個)	サイズ 3.5×8 5 個 (予備1 個)	3 個
NO.	⑮	⑯	⑰				
部品名	ゴムブッシュ	Pトラスネジ	リレー				
形状							
個数	1 個	サイズ4×10 10 個 (予備2 個)	1 個				

※必ず製品本体は電源を切り、安全のため軍手等保護具を着用のうえ、実施してください。

2. 取付要領

(1) パネルの取外し

- 1) 本体下側の前下パネルを手前に引いて外してください。
- 2) 右図に示すリモコン配線のコネクターAを抜いてください。
※このコネクターは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すと、リモコン配線を破損するおそれがあります。
- 3) 前上パネルの固定ネジ2本を外して、パネル下側を手前に開き、リモコン配線 (コネクターA) を上に引出してください。
- 4) 前上パネルを上を持上げて取外してください。
※外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクターを挟まないように注意してください。

(2) 加湿エレメントの組立て

- 1) 接続板 (前) ③、接続板 (後) ④、ホース固定板⑤を **図2** のように加湿エレメント①にネジ⑫⑬にて取付けてください。(ネジ9本)
※接続板 (前) ③の取付方向に注意してください。

(3) 固定板の取付け

- 1) 固定板 (左) ⑦、固定板 (右) ⑧を熱交換器両側の側板をすべらせながら、支柱に押し当てて後方を支柱に引掛けた後、手前をネジ⑭にて止めてください。(ネジ2本) … **図3, A部詳細図**

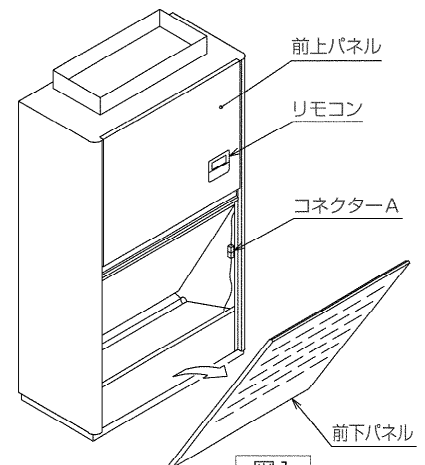


図1

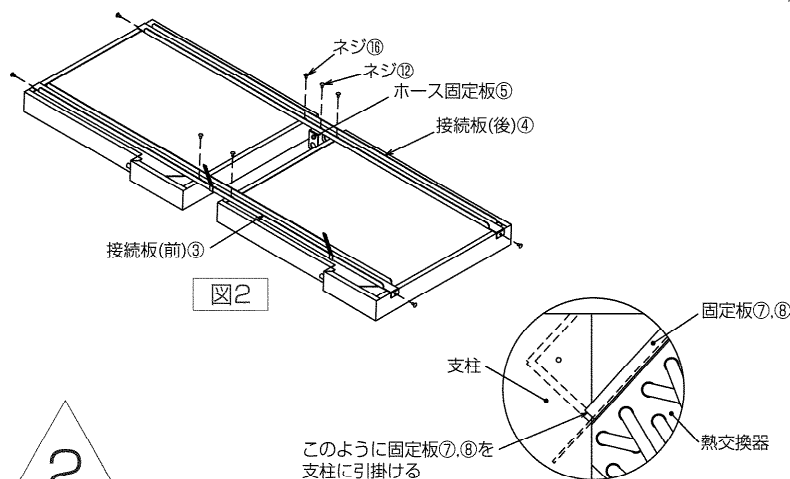


図2

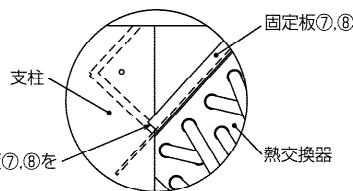


図3, A部詳細図

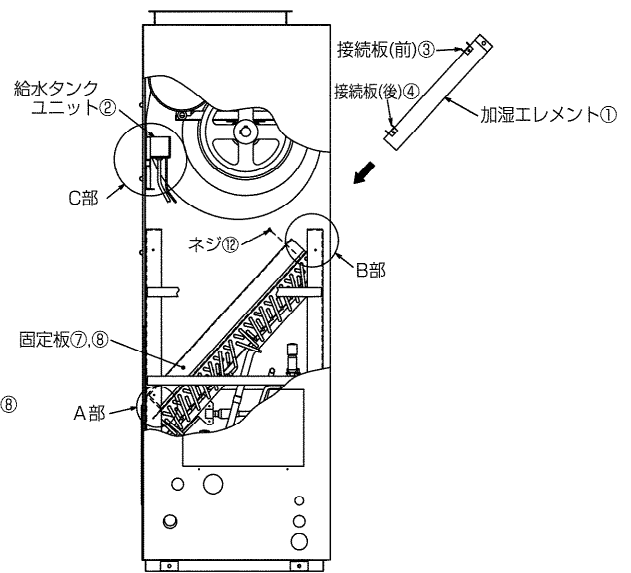


図3

(4) 加湿エレメントの取付け

- 1) モーター端子箱のカバーを開け（ネジ1本）、モーターリード線を外してください。（ネジ3本）
- 2) 製品本体のパネル取付板を外してください。（ネジ5本）…図3, B部詳細図
- 3) (2) で組立てた加湿エレメントを固定板（左）⑦、固定板（右）⑧で形成された枠内に加湿エレメントの給水口を手前にして取付けてください。…図3
- 4) ゴムブッシュ⑮を図4のようにモーター端子箱配線貫通穴に取付けて、1) で外したモーターリード線、端子箱カバーを元どおり取付けてください。

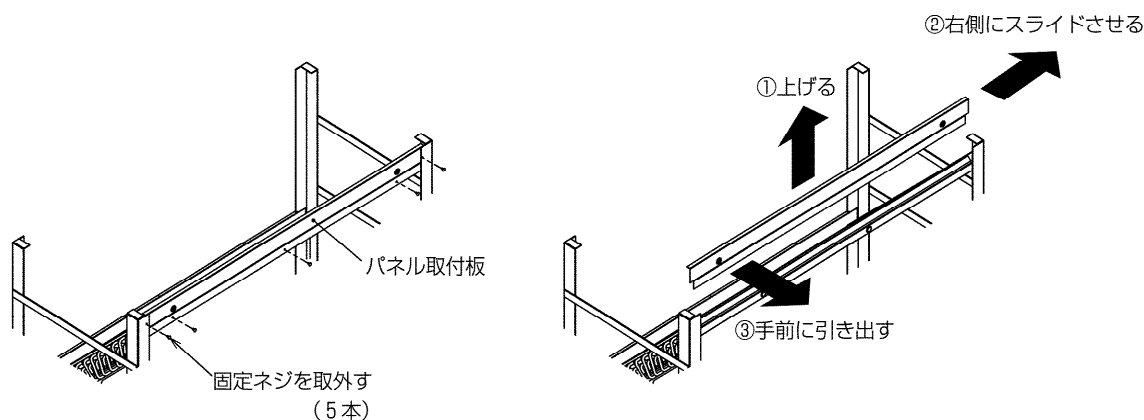
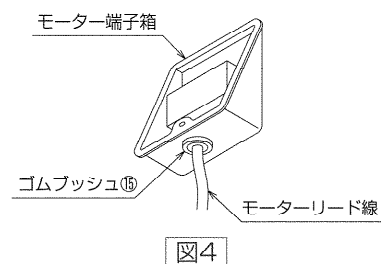


図3, B部詳細図

(5) 給水タンクユニットの取付け ※銅管は折れ曲がらないように注意して作業してください。

- 1) 現地配管の方向を確認して、製品本体のサイドパネルのノックアウト穴を打抜いてください。…図5
- 2) 1) で打抜いた穴に付属の銅管⑨を通し、管端部のフレアナットを給水タンクユニット②の電磁弁に取付けてください。…図6
（締付トルク：3～5 N・m）
※銅管⑨は周囲の板金に接触しないように取付けてください。
- 3) サイドパネルと銅管⑨の貫通部の処理は、銅管⑨に付属のブッシュにてブッシングしてください。
- 4) 給水タンクユニット②はタンク固定板⑥にネジ⑫にて取付けた後、製品本体の送風機後部の板金にネジ⑫にて取付けてください。（ネジ4本）…図3, C部詳細図

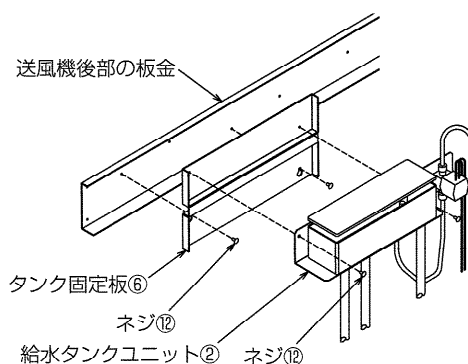
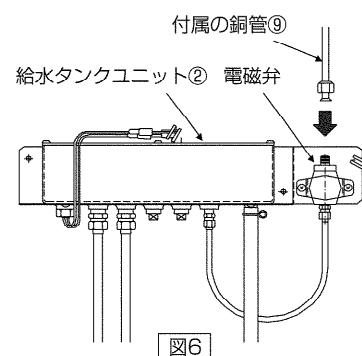
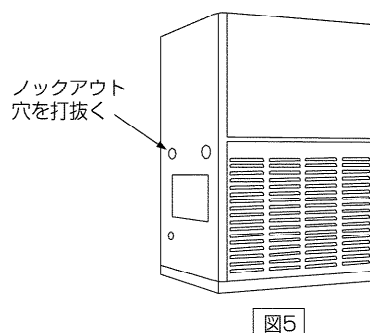


図3, C部詳細図

3. 配管要領（給水チューブ、オーバーフロー管、銅管は折れ曲がらないように注意して作業してください。）

（1）加湿エレメントへの接続

- 1) 給水タンクユニット②から出ている給水チューブ（半透明）2本を加湿エレメント①給水口に差込んでください。差込みの際、給水チューブにスリーブを指定の位置まで差込んでください。…[図7](#)
※給水チューブ2本は長さが異なるので注意してください。

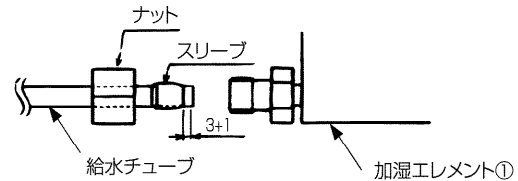
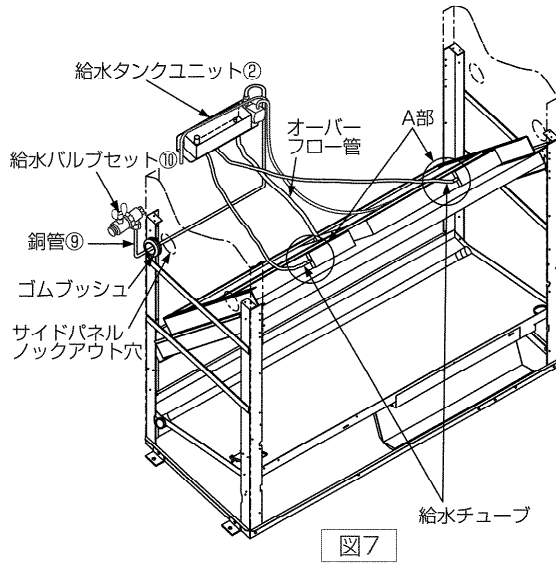


図7, A部詳細図

・給水チューブの取付要領

- (ア) チューブを加湿エレメント継手にはめ込み、チューブ先端とスリーブが継手に当たるように押し込んでください。その後、チューブにマークを付けてナットを手締めしてください。…[図8](#)
※チューブ先端が継手の奥に密着していないと水漏れの原因になりますので必ず押し込みながらナットを手締めしてください。スリーブ端とチューブのマークがずれていないことを確認してください。

- (イ) ナットをダブルスパナで $4^{+0.5}_{-0}$ N・mの力で締め付けてください。…[図9](#)

※チューブのマークがスリーブ端から外側に1～3mm程度ずれることがありますが、この範囲では問題ありません。

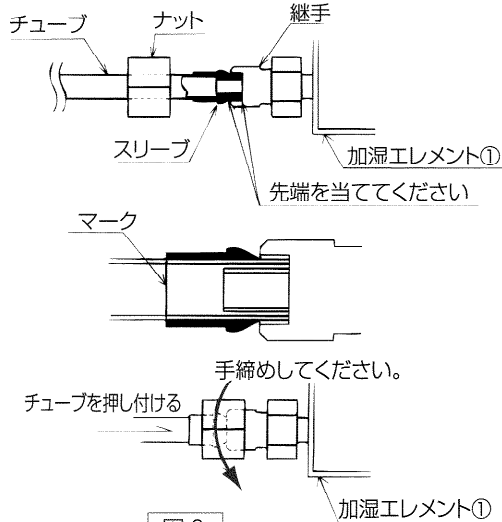


図8

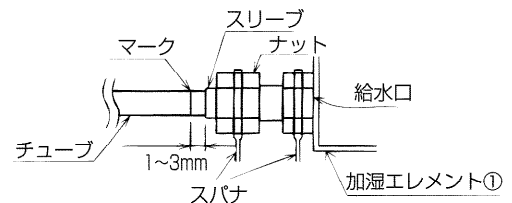


図9

（2）オーバーフロー管の設置

- 1) 給水タンクユニット②から出ているオーバーフロー管を2頁（2）で組立てた加湿器エレメントのホース固定板⑤の穴に通してください。…[図10](#), [図10, A部詳細図](#)

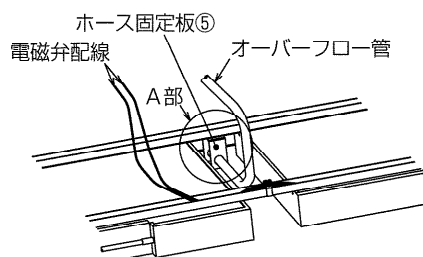


図10

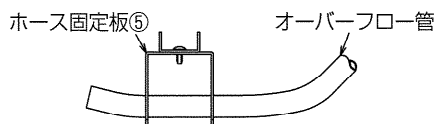


図10, A部詳細図

4. 配線要領

[CM-E形の場合]

(1) 配線の経路

- 1) 給水タンクユニット②から出ている配線を **図10** に示すように製品本体の右側手前まで這わせ、モーターリード線と同じ経路でドレンパン下の制御箱まで導いてください。

(2) 制御箱内の配線接続

- 1) 製品本体の下にある制御箱カバーを取外してください。
 - 2) リレー⑪を **図11** の位置にネジ⑬にて取付けてください。(ネジ2本)
 - 3) 給水タンクユニット②から出ている配線、リレー⑪から出ている配線は **図11** を参照して接続してください。その際、制御箱の手前で配線にトラップを設けて、パンタイ⑭にて結束してください。… **図12**
- ※湿度調節器(23HS)を使用しない場合は、端子台のA1とA3を短絡してください。(配線は現地手配)

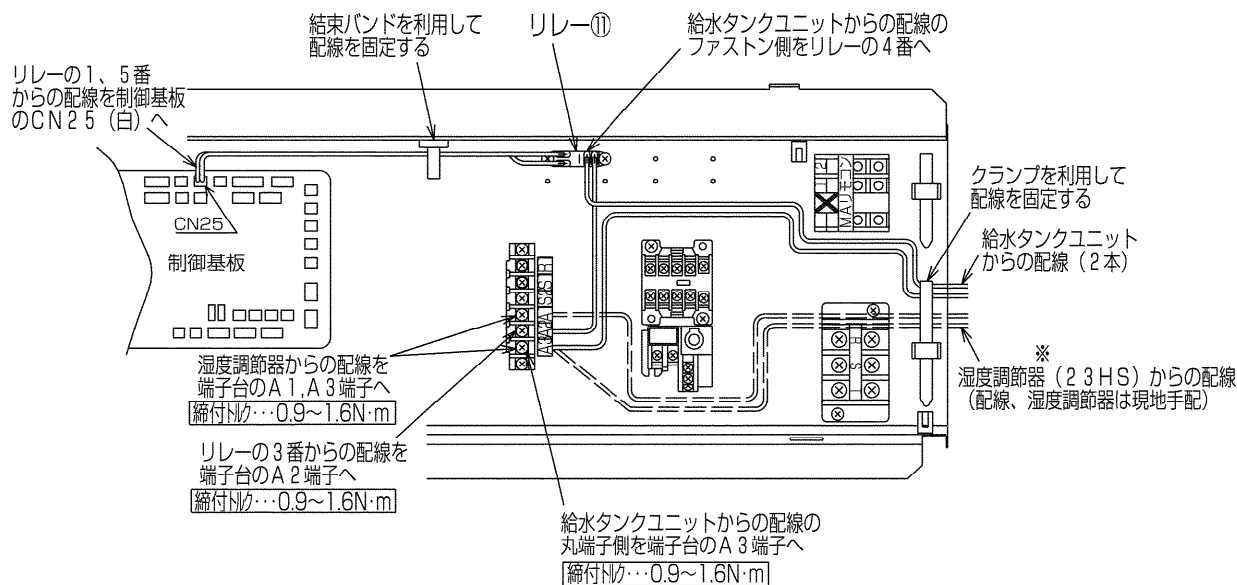


図11

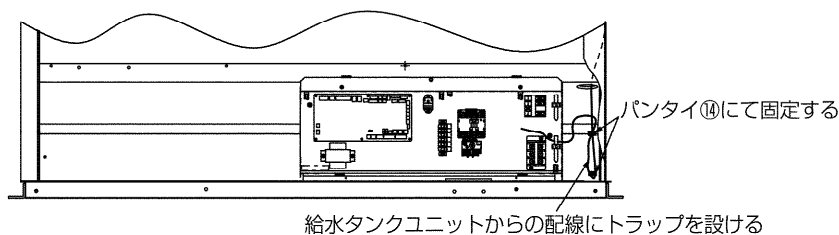
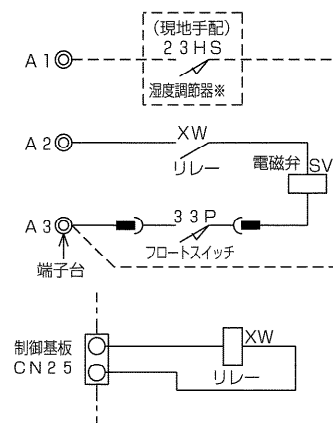


図12



すべての作業が完了しましたら、前パネル下、前パネル上、制御箱カバーを製品本体に元どおり取付けてください。

- (3) DIP SWの設定…制御基板のDIP SWの設定を変更してください。
DIP SW 1-6を必ずONにしてご使用ください。

[WCM-E形の場合]

(1) 配線の経路

- 1) 給水タンクユニット②から出ている配線を **図10** に示すように製品本体の右側手前まで這わせ、モーターリード線と同じ経路でドレンパン下の制御箱まで導いてください。

(2) 制御箱内の配線接続

- 1) 製品本体の下にある制御箱カバーを外してください。
 - 2) リレー⑪、⑫を **図13** の位置にネジ⑬にて取付けてください。(ネジ各2本)
 - 3) 給水タンクユニット②から出ている中継コネクタよりダミーコネクタを抜き取ってください。
 - 4) 給水タンクの中継コネクタをリレー⑫の中継コネクタに接続し、ファストン端子をリレー⑪の4番端子に接続してください。(4番の接続は **図13** を参照して接続してください。)
 - 5) 給水タンクユニットの配線に制御箱手前でトラップを設けて、パンタイ⑭にて結束してください。
- ※湿度調節器(23HS)を使用しない場合は、端子台のA1とA3を短絡してください。(配線は現地手配)

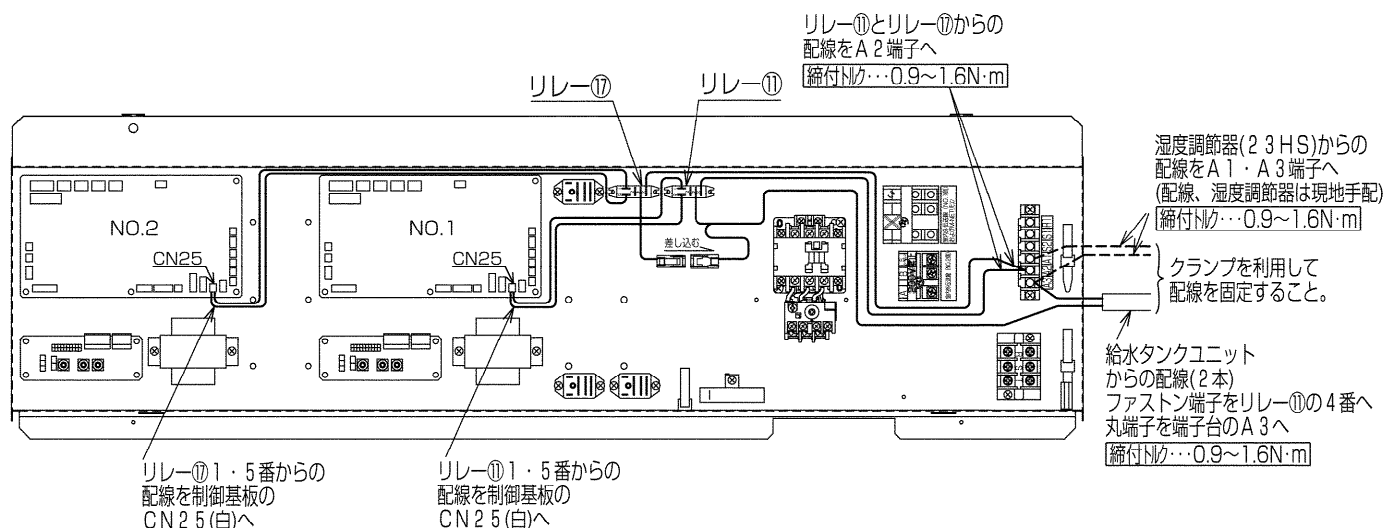


図13

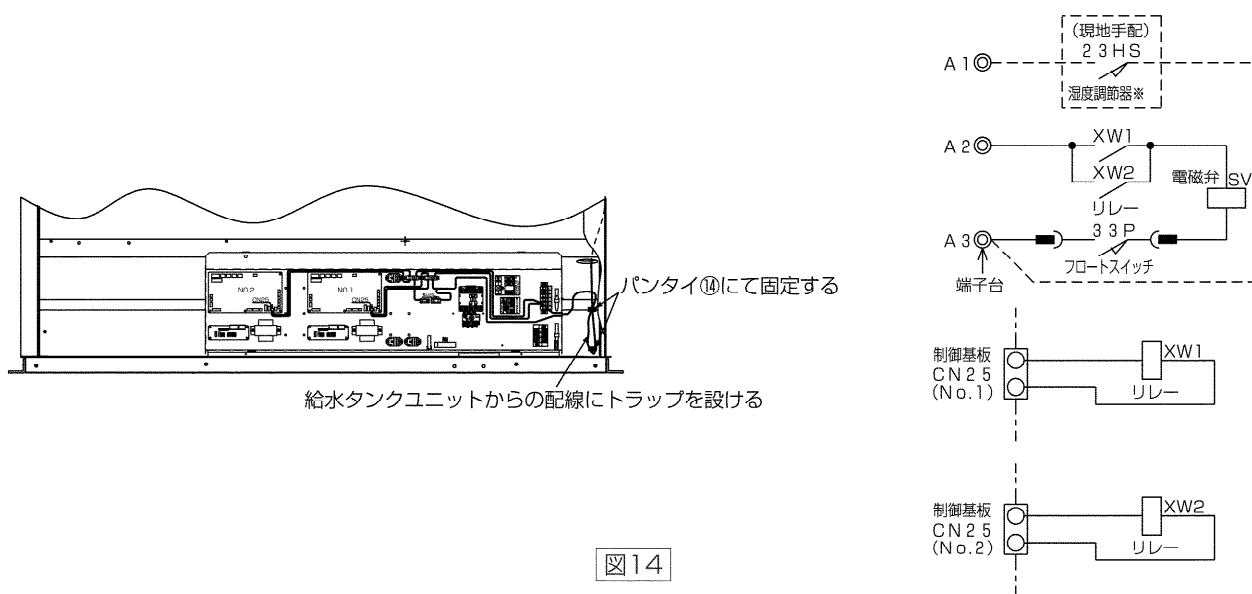


図14

すべての作業が完了しましたら、パネル取付板、前パネル下、前パネル上、制御箱カバーを製品本体に元どおり取付けてください。

(3) DIP SWの設定…制御基板のDIP SWの設定を変更してください。

DIP SW 1-6を必ずONにしてご使用ください。

5. 現地側給水配管工事

- (1) 給水配管の接続
 - 1) 給水配管を給水バルブセットに接続してください。(給水バルブはPT1/2オネジです)
 - 2) 給水は市水または上水を使用してください。ただし、公共の水道管に直接接続することはできません。このような場合はシスターンタンクをご使用ください。1次圧力は4.9kPa～696kPaです。

6. 試運転要領

- (1) 準備…給水バルブセット⑩の栓を開いて、加湿器への給水準備をしてください。
- (2) 作業手順
 - 1) リモコンをONにして暖房モードとしてください。(霜取中、ホットアジャストを除き、給水電磁弁が動きます)
※上記により試運転完了後、長期間使用しない場合は給水バルブセット⑩を再び閉めて加湿器内のカビ防止のために強制乾燥をお願いします。強制乾燥は送風運転で約20時間運転させるのが目安です。
 - 2) 配管接続部、給水チューブ接続部より水漏れがないか確認願います。
 - 3) 給水電磁弁が作動し、給水タンクおよび加湿エレメントへ給水されることを確認してください。

7. その他 冷房運転での加湿はできません

- (1) 加湿エレメントの交換
 - 1) 加湿エレメントの寿命は一般の上水で5年程度が目安です。設置状態によっては5年より早く寿命となることもありますので定期的なメンテナンスを実施してください。
※加湿能力の低下や加湿エレメントからの水漏れが確認されたら交換してください。
(水質によっては短くなることもあります)
- (2) 加湿エレメントの乾燥についてお願い
 - 1) 暖房シーズン終了後そのまま放置しますと、場所によってはカビが発生することがあります。カビの発生を防止するために、強制運転(試運転と同じ要領)を行ってください。
※強制乾燥は約20時間「送風」運転してください。
- (3) 給水チューブ、給水タンク内は定期的に(目安として暖房シーズン前に)清掃してください。
- (4) 給水タンクから加湿エレメントの間の給水チューブ内が満水にならず空気が残る場合がありますが、加湿エレメントへの給水量は十分であり、加湿量への影響はありません。

8. 静風圧選定のお願い

- (1) 加湿器を取付けた場合、室内ユニットの機内抵抗が増加します。
技術資料参照し静風圧選定してください。

